

〈資 料〉

ある元日本軍「慰安婦」の回想 (3)

——黄善順さんからの聞き取り——

吉 見 義 明

はじめに

本誌第31号・第32号でも記したように、日本軍「慰安婦」だったハルモニたちは、もう高齢である。いまのうちに話をきいておかなければ聞き取りは不可能になると思い、韓国挺身隊問題対策協議会（挺対協）に無理をお願いして、2007年11月と2008年3月に、9名の方にお会いして、インタビューを行った。今回は、2008年3月29日に、全羅南道ファスン和順のご自宅で行った黄善順ファンソンソンさんのインタビューを掲載したい。聞き取りには、挺対協の姜珠慧ジョヘさんと林志映イム チヨンさんが同行してくださった。通訳は梁澄子ヤンチンジャさんをお願いした。

黄善順さんの略歴を記しておきたい。

- * 1924年12月28日、全羅南道チャンソン長城に生まれる。ただし、住民登録上の生年は1926年だという。3人きょうだいの次女。姉と弟がいる。
- * 初等学校に2年程度通学。
- * 数え9歳の時に母が死亡、12、3歳の時に父が死亡。
- * 数え19歳の時（実際の生年を基準にすれば1942年頃、戸籍上の生年を基準にすれば1944年頃）に騙されて、いいかえれば誘拐されて、シンガポールの慰安所に。
- * 日本敗戦後、帰国。

* 数え22歳の時（実際の生年を基準にすれば1945年頃、戸籍上の生年を基準にすれば1947年頃）、結婚し、長城で暮らす。

* 2005年、名乗りでる（申告）。

以上の通りだが、「慰安婦」にされた年や結婚した年は、黄ハルモニの回想をトータルにとらえると、戸籍上の生年を基準にしてカウントした年の方がただしいだろう。

なお、以下の聞き取りでご自身ものべているように、黄ハルモニは高齢のため記憶があやふやになっている所も少なくない。たとえば、シンガポールの慰安所では、「慰安所」とはいわなかったとか、管理する業者（楼主）がいなかったとか、ラバウル経由でシンガポールに行ったという証言である。

他方で、慰安所の食料・調味料・衣服などは軍から支給されたとのべているなど、記憶がはっきりしている部分も少なくない。

もっとも注目されるのは、釜山の工場で働けばもうかると騙されて、船に載せられ、シンガポールまで連れて来られた、とのべていることである。これは明らかに誘拐である。騙した業者は軍に選定された者か、その下請けの業者であろう。1944年になっても誘拐による海外移送が行われていること、黄ハルモニが前借金をもらっていない

とのべていることも注目される。

また、慰安所では、軍人から直接お金を受け取っているが、一定の金額ではなかったとのべられているので、もらったお金は慰安所の料金ではなくて、軍人からのチップであろう。1944年から1945年にかけてのことだから、すでに猛烈なインフレが進んでおり、軍人が持っているお金（軍票）はほとんど使用価値がなかったので、持っても仕方がないので、チップとして「慰安婦」に渡したものと思われる。ビルマに連れて行かれた文玉珠さんの経験によると、慰安業者はお金をほとんどくれなかったが、兵士たちがくれるチップがたまっていって、軍用貯金をするようになったという¹⁾。

2005年に名乗り出た時に、親族から反対されたという証言も注目される。誘拐された被害者なのだから、恥ずかしいのは誘拐された女性ではなく、責任は誘拐した業者にあり、また、被害者を解放することなく、慰安所に入れた日本軍に重大な責任があるのだが、深刻な性的被害の場合には、被害者が名乗り出ることさえ極めて困難だという事情がよく示されている。

レコーダーからの起こしと翻訳は、今回も梁澄子さんにお願いした。黄ハルモニのなまりのある韓国語の翻訳は大変だったようだが、本稿の作成も多くを梁さんに負っており、成果があるとすれば、その功績は同氏に帰すべきだと思う。全体の構成は私が行った。文責が私にあることはいうまでもない。

なお、本文中、黄は黄善順さん、梁は梁澄子さん、姜は姜珠慧さん、林は林志映さん、――は吉見のことである。〔 〕は補註である。聞き取り

記録は黄ハルモニの証言をできるだけ忠実に再現した。ただし、重複がある場合はその部分を省略した。

末筆ながら、辛い思い出を語ってくださった黄ハルモニに厚くお礼を申し上げたい。また、仲介の労をとってくださった姜珠慧さん・林志映さん、通訳と翻訳をしていただいた梁澄子さんに厚くお礼申し上げたい。

*本稿は、2012年度中央大学特定課題研究「戦争と性」の研究成果の一部である。

黄善順さんからの聞き取り2008年3月29日

和順の黄さんの自宅にて

生い立ちについて

――ハルモニの体験されたことを記録に残したいと思ってきました。どうかよろしく願いいたします。ハルモニはどこでお生まれになったんですか。

黄 ^{チャンソン} 全羅南道長城。

――何年生まれですか。

黄 私は今85歳〔数え〕なんだけど、お父さんが戸籍に遅く載せたから82歳か、83歳くらいになる



証言する黄善順ハルモニ（2008年3月29日、
於：和順のご自宅）

1) 文玉珠（森川万智子構成）『ビルマ戦線楯師団の「慰安婦」だった私』梨の木舎、1996年、75ページ、108ページ。

のか、分からない。85歳なのか、分からない。

——干支は？

黄 ねずみ年〔1924年〕。

——何月生まれですか。

黄 12月28日。

姜 住民登録上は1926年生まれになっています。

——きょうだいは何人ですか。

黄 3人。でも、姉さんが死んで弟と2人だけになった。

梁 お姉さんは幼い頃に亡くなったんですか。

黄 いや、2年前に亡くなった。

——お父さんはどんなお仕事をしておられたんですか。

黄 お父さんは仕事をしてたの、仕事。

梁 どんな仕事をしていたんですか。

黄 家で稲を植えたり、畑仕事をしたり、そんなこと。お母さんは私が9歳の時に死んだの。9歳の時に。早くに死んでしまって……。

——お父さんの畑仕事というのは、稲をつくるのかですか。

黄 米もつくったり……。私が12歳か13歳か、その時にお父さんも死んだ。ずいぶん苦労したよ。

——お父さんは自分の畑とか田んぼを持っていたんですか。

黄 うん

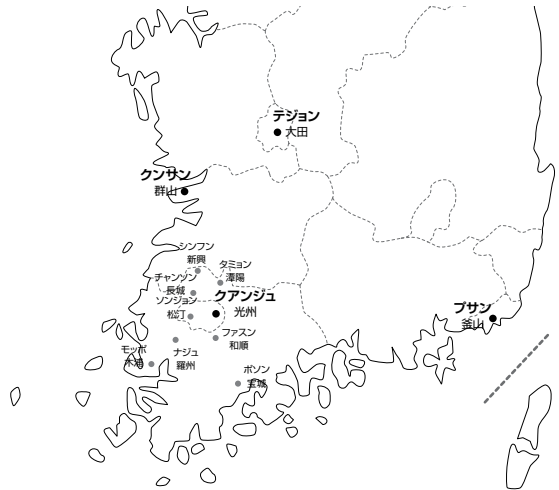
——どれくらいの広さの耕作をしていたのかは覚えていませんか。

黄 わからない。幼かったから。私が12歳の時だったか、お父さんが死んで、9歳の時にはお母さんが死んで法事をしたりしたんだよ。私も長城からあっちこっち行ってるうちに捕まってしまって。釜山の人に捕まって行ったんだよ。

——子どもの頃、小学校とかは行きましたか。

黄 国民学校の2年生までは行ったと思うよ²⁾。

日本人が教えてた頃に、全部忘れちゃったよ、も



う。以前は日本語もしゃべれたのに、日本語ももうすっかり忘れてしまったよ。

梁 国民学校で日本語を習ったんですか。あそこ〔軍慰安所〕に行ってから覚えたのではなくて？

黄 うん、あそこには1年2ヵ月くらいいたんだよ。

——国民学校では韓国語で教えたんですか。

黄 韓国語もするし、日本人は、「あいうえお」こんなのを教えたよ。そういうのも習った。

梁 韓国語も習ったんですか。

黄 うん、韓国語も習った。それは韓国人が教える。

梁 他に何か習った記憶はないですか。

黄 わからない。全部忘れちゃった。年が80歳越えたから何にも覚えてない。

——当時、国民学校と言っていたんですか。普通学校ではなくて？

黄 うん。

2) 朝鮮での朝鮮人児童の初等教育機関は、1937年までは「普通学校」、1938年からは「小学校」、1941年からは「国民学校」とよばれた。この証言によれば、黄ハルモニは、かなり遅れて入学したことになるが、普通学校だったと思われる。

——学校に行かなくなってからすぐに釜山に行ったんですか。

黄 いいや、もっと後だよ、その時は小さいもの。

梁 2年生の後は？

黄 姉さんの所に行ってたんだよ。

梁 お姉さんの家はどこにあったんですか。

黄 ^{タミヤン} 潭陽^{チャンサン}って、^{タミヤン} 章山^{テドン} [潭陽郡大徳面章山里]

——そこでお姉さんは何をしていたんですか。

黄 嫁に行って……。

梁 お姉さんとの年の差は？

黄 2歳。今、生きていたら87、私は85。でも、死んでしまった。

——お姉さんの所に行って、そこで……。

黄 弟と、弟はそのとき8歳で、私は10歳で、長くいたんだけど、それ以上いられなくなって、コモ〔父方のおば〕の家に行ってしばらくいたよ。それからまたそこにいられなくなって、大きいコモの家に行って、あの人に捕まったんだよ、釜山の人に。

梁 大きいお婆さんと、小さいお婆さんが別々にいるんですね？

黄 うん、大きいコモと、小さいコモと別々にいたの。

梁 下のコモの家において、その後、上のコモの所に行って……。

黄 大きいコモの家において、行ったり来たりしながら苦勞して、また小さいコモの家に行ったり。
^{ソンジョンリ} 松汀里、日本語で「ショウテイリ」。

梁 全羅南道の松汀里。そこにどっちのお婆さんが住んでいたんですか？

黄 小さいコモも住んでるし、大きいコモも住んでるし。

梁 あ、二人ともここに。

工場に行けば儲かるとだまされて——誘拐の経緯

黄 うん、それで、そこから弟と一緒に大きいコモの家に行く途中に捕まったの。弟は行っちゃって、途中で釜山の人間が、お金をたくさんあげるから行こうって言って。

梁 お金をたくさん稼がせてくれるって？

黄 うん、行けば工場がたくさんあるから、お金がたくさん儲かるから行こうって。

梁 その時は何歳でしたか。

黄 その時が17歳。

梁 17歳。

黄 いや、あの時、19歳だったよ、19歳。

——お姉さんの所やお婆さんの所にいた時は特に仕事はしていなかったんですか。

黄 仕事もしたし、よその家で住み込みで働いたり。すごく苦勞したよ。弟と2人で、弟を連れて住み込みで働いたよ。でもおかげで弟がこうやって家も買ってくれて。

——捕まったときの話をもう一度お願いします。

梁 捕まったときの話をしてください。その人に何て言われたんですか。男の人ですか。

黄 男だよ。その人が行こうって言うんだよ。2人で来て。

梁 その場所が松汀里だったんですか。

黄 うん、道で会ったんだよ、道で。

梁 道で。お婆さんの家に行く道で？

黄 うん。道ばたで会って、弟に家に行け、私はお金を稼ぎに行くからと言ったら、一緒に帰ろうって言って泣くのよ。それでも行けって言って行かせたの。

梁 ハルモニが行けと言ったんですか。それとも、その男が行けと言ったんですか。

黄 その男も行けと言ったし、私も行けと言ったの。お金を稼ぎに行くから。家に行ってな、私が金を稼いで家に持って行ってあげるから、って

言った。後から見たら、大田の女たちがいるし、
いろいろ集まるから、たくさんいるって。あ、そ
れから新興〔長城郡新興里〕の女に聞いたのよ。
その女が私よりも3歳年上だった。どういうつも
りで来たのかって聞いたの。そしたら、お金を稼
ぎに行こうって言うのよ。私は行きたくないと
言ったんだけど、行こう、行こうって言うから、
それで釜山から日本に行く船に乗ったの。「ヘウ
マル」っていう、大きな船に。

梁 ヘウマル？ それは日本語ですか？

黄 うん、あの頃は戦ってた時だから、韓国人は
みんな捕まった時だよ。食糧を船に載せて、人が
死んだらそこで燃やして家に送ったりした。

梁 何人が一緒に行ったんですか。

黄 あの時、29人かな。

梁 29人。

黄 うん。

梁 では、ハルモニが連れて行かれる途中で、他
の女性たちも連れて行かれたのですか。

黄 そうだよ。みんな捕まって行ったんだよ。

梁 もともと女性はいなかったんですか。ハルモ
ニが最初に釜山の男に会った時には。

黄 いなかった。

梁 いなかったんですか。それじゃあ、行く途中
で？

黄 うん、行きながらみんな連れて行ったんだ
よ。それでどういうことだろうって泣いたりわめ
いたりして、私は19歳だったけど何にも持ってな
いしどうしようって言ったら、金儲けに行くんだ
から心配ないって。それで群山の女が死んじゃっ
たんだよ。船で焼いて家に送った。

梁 その女性たちは何歳くらいでしたか。

黄 私は19歳で、23歳もいるし、22歳もいるし。

梁 それじゃあ、もっと年上が多かったんです
ね。

黄 うん、多かったよ、私の方が若い。

梁 そうですか。

黄 どこに行ったかというラバウル、シンガ
ポール。

日本人が飛行機で行って、私たちが行って降り
ただけど、その時、戦争の真っ最中だった。戦
争をやってて、日本人が飛行機で、「セントウ
キ、スイジョウキ、バクゲキキ」〔戦闘機、水上
機、爆撃機。「」内は日本語で発音〕、そういう
のに乗って、バクゲキキには道具を載せてガーッ
と、セントウキは一人で乗って、スイジョウキは
二人で乗る。そういうのに乗って行って戦って来
る。戦いに行くって、日本人が私たちに言って行
く。泣きながら行ってくると言っていなくなる。
死んでしまって。ものすごかったんだよ。私たち
は船で死ななくてよかったよ。地面を掘ってそこ
に隠れたり。一緒に行った人たちは船でたくさん
死んでしまって、私たちはゴムの服を着て、あ
れ、あれだって、ゴムの服を着ないと死んじゃ
うって言って、それで生きるために……。日本人
が旗を持って来て、ご苦労だったと言って手
を取って大騒ぎだった、あの時。

——船に乗る時に一緒に連れて行った人は、最初
に会った大きな男の人と同じ人ですか。

黄 〔その人は〕行かない。

梁 じゃあ、誰が一緒に行ったんですか。

黄 他の人が連れて行った。

梁 どういう人ですか。

黄 分からない。

梁 覚えてない？

黄 うん、分からない。誰かも分からないし。

梁 覚えてはいるんですか？ 誰かは分からなく
ても、男性ですか。

黄 うん、男が二人。今考えてみると、日本人が
私たちに身体を売らせようとして連れて行ったん

だと思ふ。

梁 その時はそういうことは言わなかったんですか。

黄 言わないさ。だから行ったんだよ。

梁 どんな仕事をすると思って行ったんですか。

黄 工場があるって。だから付いて行ったんだよ。何も知らないで付いて行ったんだ。

梁 工場があると男が言って、どこに行くと言いましたか。

黄 船に乗って行ったら何日かかかるって。一日じゃなくて。

シンガポールで軍慰安所に

——船に乗って最初に着いた所は覚えていますか。

黄 聞いてないよ。それにわけがわからないうちに行ったから分からないよ。船に乗ってずっと……。

梁 船を下りた場所は？

黄 降りた所はラバウル、シンガポール、シンガポールに行ったんだよ。山もないし、アイゴー。あそこで死なないで帰って来られてよかった。日本人だけ死んだわけじゃないんだよ。韓国人も徴用で行ってたくさん死んだよ。爆弾投げて、アイゴー、嫌になる。今生きているのは私しかいないだろうよ。

——さっき戦闘機や爆撃機を見たとおっしゃいましたが、それはラバウルですか。

黄 いいや、違う。

梁 シンガポールですか。

黄 うん、シンガポールで。戦争しに行くんだよ、日本人が、日本人の若いのが、私たちに行くと来ると、元気でいろと、戦って来ると言って、泣きながら。でも、来ない。戦いに行ったら死んだようだと思うと、怖くてたまらないよ。そこで来

る人は来るし、来ない人は来ないし、そうして身体を売って……。私も。

若い人たちは飛行機に乗って行くと、そのまま死んでしまう。ミヤモトっていう人も、私に本当によくしてくれたけど、行って死んでしまった。

——そのミヤモトという軍人は海軍ですか、陸軍ですか。

黄 いいや、飛行機に乗ってる。アイゴー、若くて立派な人が死んでしまって、日本人がたくさん死んだよ。飛行機に乗って。ドドドドドドって、とても寝てられない。穴を掘ってそこに入ってしまった……。

梁 そこに隠れたんですか。

黄 うん、そういうのが来たら。セントウキ、スイジョウキ、バクゲキキ、そんなのが飛んできて戦うんだけど、もう……。

〔慰安所では〕こっちに、みんな名前を書くの。ウメコならウメコ、アキコならアキコ。みんな名前を書いて付ける。それで気に入った所に入る。

梁 どこに？ 部屋に書いて付けるんですか？ 入口に？

黄 うん、みんな書いて付ける。

梁 ハルモニの名前は？

黄 私はアキコ。

——それはシンガポールですか。

黄 うん、シンガポール。

梁 シンガポールにずっといたんですか。

黄 うん、シンガポールだけ。あっちから飛行機がダダダダって来て、爆弾を落としたらみんな即死だよ。飛行機に乗る連中が私たちに、あの時が戦争してた時だったんだけど、戦って来て死んで、帰って来なかった人がどれだけいたか。可哀想でたまらないよ。今もじっと寝てると、あの人たち思い出して可哀想だよ。日本人を悪く言うつ

もりはないよ。世の中がそうだったんだから。若い人たちが……。 (来客によりインタビュー中断)

慰安所の日々

梁 さっきの話の続きをしたいのですが。どこまで話したか覚えてますか。

——シンガポールに行って、慰安所の名前というのは覚えてますか。

黄 名前なんかないよ。

梁 名前がないんですか。何々館とか。

黄 何々だとか、そういうのはないよ。

——楼主というか、経営者の名前は覚えてますか。

黄 いない、いない。

梁 管理者がいないんですか。

黄 いない。寝ていく人がいるだけ。そういう人だけいる。管理する人もいないよ。

梁 そうすると逃げたりとか……。

黄 逃げることなんかできないよ。逃げることなんかできない。逃げ方が分からないんだから。車に乗らなきゃいけない、いや、船に乗って行ったんだから。

梁 じゃあ、誰がご飯をつくってくれるんですか。

黄 自分たちでやったんだよ。

梁 自分たちで？

黄 そうよ、自分で作って食べた。おかずも作って。ヒカリ、サクラタバコ、そんなのもちゃんと持って来て。

梁 タバコですか。

黄 当時はヒカリ、サクラ、そういうタバコがあったの。そういうのも一箱ずつくれたけど、私たちはそういうのは吸わないで、あれ、バナナ。インド人にバナナをもらって食べて。あれ取って来たら食べて……。

梁 誰が取ってくるんですか。

黄 インド人が。インド人が取ってきてくれて。私たちにタバコも吸わせようとして持って来たりする。

梁 タバコは誰が持って来るんですか。

黄 あおときはそこから持って来るんだってば、韓国から、日本から。韓国から味噌、唐辛子とか、いろいろ持って来てくれたよ。私たちがいた所に。

梁 誰が？ 日本人が？

黄 うん、日本人が。

梁 軍人が？

黄 うん、韓国人も持ってきたし。

梁 韓国人が持って来たんですか。

黄 韓国人も持って来て分けてくれるし、私たちに食べるって言って分けてくれるし、自分たちも食べるし。バナナ、パパイア、椰子、マンゴー、そんなのは取って来てくれる。

姜 ハルモニ、インド人というのは誰のことですか。

黄 黒んぼ。黒んぼをインド人って呼んでたの、私たちは。

梁 韓国人は何をしたんですか。

黄 徴用だよ。徴用に行ってみんな死んでしまった。

慰安所の様相

——一緒に船に乗ってた男とはどこで別れたんですか。

黄 そこで別れたんだよ、そこ、船に乗って。

梁 どこですか？ ラバウル？ インドネシアで？

黄 そこ、シンガポールで。

梁 シンガポールまでは一緒に行ったんですか。

黄 もちろん、一緒に行ったよ。

梁 シンガポールでハルモニがいらっしやった場所には韓国人女性が何人くらいいたんですか。

黄 韓国人の女が、一緒に行った人がこっち、あっちで、29人か28人か。

梁 それじゃあ、船に乗るときに29人でしたよね。その人たちがみんな一緒に行ったんですね。

黄 うん、こっちにいて、あっちにもいて。

梁 こんなふうになく？

黄 うん、長く。こっちにもいて、あっちにもいて。

梁 右と左にこうやって部屋がずっと並んでいるんですね。

黄 そう、それで真ん中にこうやって歩ける。

梁 真ん中に廊下があるんですね。

黄 廊下がある。

姜 私が思うに廊下じゃなくて、こんなふうにな大きな家を建てて……。

梁 通りですか？ 大きな家ではなくて？

黄 家を建てて、廊下があって、こっちに、あっちに……。

梁 家は大きな家ですか？

黄 家は変わった形をしてるの。

梁 小さな家がたくさんあるんですか。それとも家自体が大きいんですか。

黄 家が変わった形をして、家をながーく作ってあるんだよ。それで廊下のこっちでも人を入れて、こっちでも人を入れて。

梁 それでは部屋は全部で30くらいあるんですか？ 29人もいたわけですから。

黄 そうだよ。それくらいあったらろう。こっちでも、あっちでも見て、気に入った人の所に入って。やって出てきて、また寝て。

梁 名前は部屋の前にあるんですか？ 入って来る入口にあるんですか？

黄 こういうふうにな扉の所にあるのよ。

梁 それじゃあ、扉には誰か座ってるんですか？ 管理する人とか。

黄 いらないってば。

梁 じゃあ、軍人が名札を選んで入る時に、そのまま軍人が入るんですか？

黄 うん、それでお金もらって。

梁 じゃあ、ハルモニたちがお金を直接もらうんですか？

黄 うん、直接くれる。サックというのがあるから、子どももできないし。

梁 そこに来たのは軍人だけでしたか。

黄 みんな軍人だよ。

梁 日本の軍人ばかり？ 韓国人は？

黄 いやあ、韓国人は来られないよ。遠くに行ってるし、徴用で行った人たちは遠くに行っているし、日本人、船に乗って、飛行機に乗って、そういう人たちが来る。

梁 でも、韓国人にも会ったんですよね。徴用に行った韓国人に。

黄 徴用に行った人たちには会ってないってば。

梁 さっきタバコを持ってきてくれたと言っていないませんでしたか。

黄 タバコは船に載せて持って来るんだよ。

梁 船から持って来るときに韓国人が持って来てくれた？

黄 日本人も持って来るし……。

梁 韓国人も持って来た？

黄 うん。

梁 じゃあ、そういうときに韓国人にも会ったんですね。

黄 いいや。

姜 聞いた話みたいですわね。

梁 ああ、聞いた話？

黄 うん。

姜 ハルモニ、そこにいるときに徴用で来た韓国

人に……。

黄 会ったことない、一回も。あそこで爆発して火がバツと出て、人がたくさん死んだんだよ。私があそこで見た。そこで韓国人が死んだんだ、たくさん。それでたくさん死んだんだよ。日本人もたくさん死んだし。あの火のせいで。

——軍人がくれるお金は決まっていたんですか。

黄 いや、気分だよ。

姜 軍人の気分？ ハルモニの気分ではなく？

黄 そうだよ。

姜 ハルモニがいくらいくらくれと言うのではなくて？

黄 違うよ。

梁 定まった金額はないんですか。

黄 うん。可哀想だと言ってお金をくれるのよ。自分も死ぬかもしれないと言ってお金をたくさんくれて行ったりするのよ。それで飛行機が飛ぶと走って行って……。アイゴー。

——ハルモニのいた場所は「慰安所」と呼ばれていましたか。

黄 「イアンジョ」〔日本語で発音〕？ 知らない。私は聞いたことない。

——軍人からもらったお金はどうしたんですか。

黄 持って来たよ。持って来たんだけど、お金は持って来ても、モノは小さなものでも何にも持って来れなかった。全部取られちゃった。写真でも何でも、持って行かせない。インド人、黒んぼと撮った写真がいっぱいあったのよ。絶対に持って行かせない。

梁 誰が持って行けないようにしたんですか。

黄 そこで持って行かせないようにしたんだよ。服も持って来れないし。お金だけ持って来たんだけど、ソウルで泊まったのよ。日本で泊まらないで、そのままソウルに来てソウルで泊まったの。私と新興の女と、その人は87、私は85だから私が

姉さんって呼んで仲良くしてたんだけど、二人でソウルで降りて寝てたの。そこで全部盗まれちゃってないよ。私と新興の女と、私のポケットに少し入れておいたのがあって、それで車に乗って帰って来たんだよ。ある男が盗んだんだよ、私は分かっている。

絶対に持って来れない。帰ったら何も言っただけでいけなくて演説もしてたよ。シンガポールで、何があったのか、そういうこと言うなって。言ったら大変なことになるって、絶対に言うなって言われたの。

梁 誰がそう言ったんですか。

黄 日本人もそう言うし…、朝鮮人の女たちも……。

——そのお金はどれくらいあったんですか。

黄 分からない。どれくらいあったか。あんまり昔のことだから忘れちゃった。あそこに19歳の時に行って20歳の時に帰って来たから、何が何だかも分からないし、家に帰りたいとばかり思ってた。他には何も考えられなかった。

——性病検査はありましたか。

黄 うん、毎日のようにやる。

梁 毎日のようにやるんですか。誰が？

黄 そこで日本の看護婦が来てする。日本の看護婦。

梁 女性ですか。

黄 女もいるし男もいる。日本から来て全部検査して606号〔サルバルサン〕なんかも打って。どこに病気があるか、女が病気にかかっているかどうか、毎日調査する。

梁 毎日ではないのでは？

黄 いいや、毎日。サックも持ってきて、何から何まで……。

梁 ハルモニも606号を打たれたことありますか。

黄 もちろん。私も打たれたよ。大丈夫でも打

つ、

梁 大丈夫でも打つんですか、

黄 何ともなくても打たれるんだよ、あれはすごくいいものなんだよ、ここ〔韓国〕にはないけど、

誘拐された時の状況

——最初は工場で働くと言われて連れて行かれたということですが、それは日本に行くということだったんですか、

黄 日本に行くなんて話じゃないよ、釜山の工場に行くと言ったんだよ、なのに、そのまま船に乗せられて、何が何だか分からないでそのまま行ったんだよ、何にも考えないで、釜山に工場がたくさんあるから、釜山の工場に行こうと言われて行ったんだよ、私たちが小さい頃には、釜山に工場がたくさんあるって、よく聞いてたんだよ、

梁 釜山で働くと言われたんですね、

黄 そうだよ、それから船に乗せられたんだよ、行って来るって言って、

——その騙した男はお金をくれたんですか、

黄 うん、お金をくれたから、そこに私をあげたんだよ、

姜 ハルモニにお金をくれたのではなくて、ハルモニの理解は、ハルモニを他の人に渡す時にその人がお金をもらったということ、

梁 その釜山の男からハルモニがお金をもらったんですか、

黄 もらってないってば、そいつがもらったんだよ、そいつがお金をもらって、私を送ったんだよ、

——船に乗った時から騙されたっていう感じがしていましたか、

黄 そうだよ、もちろん、船が何階建てかわからない、大きな船で……。人も死んだらそこで燃や

して、

梁 怖かったでしょうね、

黄 アイゴ、怖いよ、人を載せて行くでしょ、戦争してるからいろんなものを載せて行くでしょ、戦争している人たちにあげるために、韓国人にもあげて、日本人にもあげようと、船にあらゆるものを載せて行くんだよ、食べるものとか、

——軍人も乗っていましたか、

黄 日本の軍人？ いたよ、いて、降りて、戦うためかどうか知らないけど、いたよ、

梁 一緒に降りたんですか、

黄 うん、一緒に降りた、

——当時どんな服を着ていたか覚えていますか、

黄 あれは夏だったか、秋だったかな、チョゴリを着て、チマを着てたと思うよ、

梁 夏だったんですか、

黄 夏だったか、春だったかわからない、秋だか、夏だか、春だかわからないよ、年取ったからわからない、

——履き物はどうでしたか、

黄 コムシン〔ゴムの靴〕、あの時はコムシンしかなかった、サンダルもないし、

——髪は長かったんですか、

黄 髪は長かったよ、

——編んでいたんですか、

黄 編んでなくて、ただ結んでた、

——特に荷物とかカバンとか持っているわけではありませんでしたか、

黄 持って行かないよ、他の人も持ってなかったよ、そこに行けば全部揃えてくれるって言うから、そんな戦ってる所に女が行くなんて思いもよらなかったし、

慰安所での出来事

黄 日本の軍人が私のことをきれいではないけ

ど、いい子だって、優しくていいって言って、毎晩話したりしたよ。あそこで一緒にしろとも言われた。行って帰ってきたら、飛行機に乗って行って戦って来たら一緒にしろって言ったけど、帰って来なかった。

梁 ミヤモトさんのことですか。

黄 うん、死んでしまった。可哀想でたまらないよ。

梁 ハルモニがいらしゃったシンガポールは繁華街でしたか。人が大勢いましたか。

黄 ちょっと降りて行くと西洋人がたくさんいたよ。

梁 ハルモニがいた家の周辺には？

黄 いないよ。私たちしかいない。人が行ったり来たりして。私たちしかいない。

梁 家の外に出たことはありますか。

黄 ないよ。そこで休んで、洗濯して、ご飯炊いて食べて、それだけ。飛行機が来たら隠れに行く、そんなことしかないよ。

梁 降りて行くということは、その家が山の上にあったんですか。

黄 上にあるんじゃないくて、離れた所にあった。

梁 少し行ったら西洋人がいたということですが、その少しというのはどれくらいですか。

黄 目の真っ青な人たちがいた。

梁 そっちに行ったことがあるんですか。

黄 服を取りに行ったりした。簡単服。

梁 簡単服をとりに行く時にどれくらい歩きましたか。

黄 大した距離じゃないよ。ここから市場に行くくらいだよ。

梁 さっきのあの市場あたり……。

——遠くないですね。慰安所から自由に外に出ることはできたんですか。

梁 その家、慰安所とは言わなかったんですよ。

ね。

黄 言わない。

梁 その家の外に自由に出ることはできたんですか。

黄 うん、でも飛行機が怖くて出られない。飛行機が飛んでくると穴の中に隠れるんだよ、そうでなきゃ死んじゃうから。

——その家は平屋建てですか。

黄 平屋建てだよ。ここに寝て、こっちであれをやって……。

梁 部屋はこれくらい〔黄ハルモニの家の居間、四畳半くらい〕の大きさですか。

黄 部屋は小さいよ。日本人が、飛行機に乗る人たちが来んだよ。他の人は来ない。韓国人は全然見たこともないし。飛行機に乗って来ると、私がお飯をあたためて出してあげたりして、そうするとありがとうって言うし、一緒に暮らそうと言ったり、とにかくそんなことをよく言ってたよ。ところが行って死んでしまったのか、急に来なくなった。死んだから来ないんだよ。戦争の時だったから。そうじゃなきゃ今頃あの人と暮らしていたかもしれない。男前だったのに、行ったら生きて帰れるか分からないと言ってたけど、死んでしまったから帰らない。そうじゃなきゃ今頃、日本で住んでたかもしれないのに。

梁 それはミヤモトさんの話ですね。

黄 うん。

——ミヤモトさんはどこの出身でしたか。

黄 そんな話はしなかった。

——お若い頃は美人だったんじゃないでしょうか。

黄 アイゴ、最高に不細工だったよ。若い人でも、年寄りでも、男でも何でも、私が面白いことを言うから寄って来る。そうじゃなきゃ誰も来ないよ。

——一日に兵隊は何人くらい来ましたか。

黄 そんなこと言いたくない。でも、お金はよく稼いだよ。

——稼いだお金を貯金しろという話はありませんでしたか。

黄 そんな話はなかった。貯金しろなんて話はなく、盛んに戦っている時だから、それどころじゃないよ。

慰安所での食事について

——もらったお金で果物を買ったりタバコを買ったりしたんですか。

黄 いや、買わない。

梁 そういうものはただでくれるんですか。

黄 タバコみたいなものは、あそこで配給でくれる。吸っても吸わなくてもくれるんだよ。黒んぼのインド人に、写真を一緒に撮ったりして、バナナを取って来いって言うのと少しずつ持って来る。バナナ、パパイヤ、椰子、マンゴー、そんなものをもって来る。そうしたら私たちがそれを食べて、タバコをあげる。ヒカリタバコ、サクラタバコなんかをあげる。高いものだから大喜びだよ。

梁 タバコ以外のものも配給でくれましたか。

黄 他のものはない。

梁 タバコだけですか。

黄 うん、それから味噌なんかも少しずつくれた。

梁 味噌もくれたんですか。

黄 うん

姜 簡単服を着てたって言ってましたけど、それはお金を出して買ったんですか。

黄 あそこで作ってくれたんだよ。

姜 くれたんですか。

黄 うん、くれた。

——食事代はどうなってるんですか。

黄 だから自分たちで唐辛子を植えたの。どこかで苗みたいなのをもらってきて、それをとって味噌につけて食べたりしたんだよ。

梁 米は？

黄 米は配給でくれる。

梁 お米以外の食糧は配給でくれないんですか。

黄 だから味噌とか……。

梁 米と味噌と。

黄 キムチがあるかね、何があるかね。ただ味噌とか、そんなものだけ持って来たよ。

姜 当時お腹が空いていたと思いますか。よく食べていたように思いますか。

黄 あそこで？ アイゴ、飛行機が怖いし、早く家に帰りたいて考えばかりでご飯も喉を通らないよ。

梁 お腹がすいていたということですか。

姜 私が思うにはそうでもなかったみたい。果物を食べたりして。

黄 果物を食べた。バナナ、パパイヤ、椰子、マンゴー、こういうのをたくさん食べてた。ご飯はあまり食べない。毎日果物ばかり食べてた。

——配給は誰が持って来るんですか。

黄 車で持って来るんだから、いや、船で持って来るんだから、あいつらが持って来るんだよ。

梁 軍ですか。

黄 軍人、軍人。日本人の軍人が持って来る。

梁 軍服を着ているんですか。

黄 うん、軍服を着た人たちが。私たちは全部誰だか分かってる。日本人かどうか分かる。でも、私たちは日本語ができないからイライラしたよ。指でこうやって、こうやって。

——誰が食事をつくるんですか。

黄 私たちが作る、ジョウキで。

姜 ジョウキって何ですか。

黄 ジョウキって火で……。ジョウキでご飯を炊

くと、シーって音を出してすぐに煮立つ。

梁 蒸気？

——ご飯は順番で炊くんですか？

黄 いや、適当に誰かが作る。一緒に食べて、一緒に後片付けして。私は新興の女、長城のあの女と一緒につくって食べたよ、ウメコ。

姜 各自別々につくって食べるんですか。

黄 それぞれ作るんだけど、ご飯は一緒に食べるんだから。味噌と唐辛子と、韓国人は辛いものがないとご飯が進まないのに、辛いものがないから、日本人がひどいことをするって大騒ぎになったけど、それでもお金でも稼ごうと思って行ったんだよ。でも何にもならなかった。日本に到着したら日本人が歓迎するって大騒ぎで、日本人は船を降りた。日本人がすごくたくさん来てたよ。

日本降伏後の状況

姜 それは戦争が終わった後の話ですね？

黄 そうだよ。戦争が終わったのかも分からない。家に来てから。

姜 戦争が終わる前にここに來たってことですか。

黄 いや、うん、終わらないで來た。だから、ここに來て少し経ってから、ここでしたんだから。

あ、駄目だ、長く経ってるから分からない。私は來てから、解放はされてないんだけど、何日かしたら解放されると言ってたと思うよ。旗を振って、大勢の人が來て、私たちが歓迎してくれてたんだか何だか、分からない。だから解放されてから來たんだと思うけど、分からない。

姜 解放されてから來たんだとしたら、連合軍がシンガポールに入ってきているはずなのに、そういう話が出ないのを見ると、解放されてたのかなあ？ シンガポールなんかだと連合軍が入って來て収容所に収容されたんじゃないかと思うんだけど

ど……。

黄 もう頭がぼけちゃって。私は元々頭はしっかりしている方なんだけど。身体も悪いからもう駄目。昔はしっかりしてたんだけど。

——帰る時のこと話してくれますか。

梁 出て來る時の話をしてください。解放されていたかどうか〔戦争が終わっていたかどうか〕に関わらず。軍人たちは何と言っていましたか。

黄 日本の軍人たちが私たちに先に行くんだと知らせに來たんだよ。

梁 軍人が行くと言っていたんですか。

黄 私たちが行くって。それでゴムの服を着ろと言うのよ。水に浮くからって。船がどうかなったら死んじゃうから着ろって。でもねえ、どうして日本人が旗を振ってたのか……。私が思うには解放になっていたんじゃないかと。あの時に日本人が旗を振ってたくさん迎えに出てたんだから……。

梁 それじゃあ、ハルモニたちだけ船に乘せられたんですか。軍人はなくて？

黄 軍人がいたかどうか分からないよ。

林 ハルモニたちが帰るからと言って日本の軍人たちが残念がって見送りに來たってことですよ。ね。

黄 いや、あの人たちの故郷で。私たちが着いて船から降りたら旗を振ってすごかったよ。

林 ああ、ハルモニが船に乗って日本で降りたんですか。

黄 そうだよ。

林 日本から韓国に來たんですか。

黄 ああ、日本から韓国に來たんだよ。

梁 一旦、日本に行ったんですね。

黄 行く時はまっすぐシンガポールに行って。

林 いや、行く時じゃなくて、シンガポールから來る時は……。

黄 そのまま来たんだよ、日本に来てから…….

林 日本に着いたら日本人が歓迎してくれて…….

黄 日本人が旗を振って大変だった。だから解放になってから来たんじゃないかと思うけど分からない。だから日本人が出て来て旗を振ってたんだろうよ。やっぱり解放されてた「戦争は終わっていた」と思うよ。

梁 その時は軍人と一緒に来たんですか。

黄 一緒に来たのか分からないよ。解放されてから来たから歓迎して大騒ぎだったんだと思うよ。

シンガポールからの帰還

梁 日本に来た時の話ではなくて、シンガポールで船に乗る時の話をもう一度してもらえますか。どういうふうに船に乗ることになったんですか。

黄 行こうって言うから。

梁 軍人が行こうって言ったんですか。

黄 人々がそう言ったんだよ、軍人じゃなくて。私は若いし、他の人は私よりも年上よ。その人たちが行こう、行こうって言うから、私は家に帰れる、良かったって喜んで。

梁 じゃあ、その家にいた女性たちが行こうと言ったんですか。

黄 そう、お姉さんたちが、私たち行くことになった、行こう、行こうって言うから。

梁 どうして行くことになったかについては何も話がなかったんですか。解放されたから行くとか、そういう話はなかったんですか。

黄 私は分からなかったんだってば。今じゃあすっかり頭がぼけてしまって分からないし。

梁 それじゃあ、突然行くことになったと聞くまで、軍人はその家にずっと来ていたんですか。

黄 そうだよ。

梁 じゃあ、前日まで来ていたのに、急に行くこ

とになったんですか。

黄 日本人も行くって言うたよ。私たちに気を付けて行けって言うから、離ればなれになるのは残念だって私が言ったの。それでもそのまま船に乗って来たよ。

梁 じゃあ、一緒には来ていないんですね。

黄 一緒に来てないよ。日本に来たら日本人が旗を振って歓迎に出てたんだよ。

梁 じゃあ、軍人はそこに残ったんですか。軍人がシンガポールに残って、ハルモニたちが先に来たんですか。

黄 うん、先に来たんだよ。それで日本人が旗を振って歓迎するから、解放されたんだと思ったんだよ。

梁 そこが日本だと分かったんですか。

黄 そりゃ、分かったよ。

——シンガポールに1年いて、そこから帰ってきたんですね。

黄 うん、そうだよ。そこから来たんだよ。

梁 一カ所にずっといたんですか。

黄 うん、一カ所にいた。

——日本に着いた後はどうしたんですか。

黄 日本に着いて、船に乗ってソウルに来た。

梁 日本では一度降りて何日かいたんですか。

黄 いいや、そのままソウルに来たんだよ。船に乗って。

梁 他の船に乗って？

黄 他の船に乗ってソウルで降りて、ソウルで一晩泊まって、それからまた釜山に行って。

姜 ソウルじゃなくて仁川でしょう。

梁 ソウルで泊まった時にお金を盗まれたんですね。

黄 新興の女と私とお金を盗まれちゃって…….

釜山を通して家に帰って来たんだよ。

梁 シンガポールを出る時に、服や写真を持って

行くと言ったのは誰ですか。

黄 みんな言ってたよ、あそこにいる人たちが、
軍人たちが持って行かせなかった。

梁 軍人が言ったんですか。

黄 船に持って行ったら大事になるって、私が黒
んぼと写真をたくさん撮ったのよ。でも、そうい
う写真を1枚でも持って行っちゃいけないと言っ
て、全部とられちゃった。

姜 荷物検査があったんですか。

黄 そうだよ、全部調査するよ。それで何も持つ
ていけないようにする。簡単服は……。

梁 簡単服も持って行けないようにしたんです
か。

黄 いや、簡単服は持って来た。そういうのは大
丈夫なんだけど、写真とか、そんなの持って行っ
てもしょうがないと言って、絶対に持って行かせ
なかった。

——帰る時には西洋人はいなかったんですか。

黄 いないよ。

——西洋人の軍人もいませんでしたか。

黄 見てない。日本人しか見てないよ。朝鮮人も
いないし。

連れていかれた所は？

——ラバウルには行ってないんですね。

黄 そこを通って行って、そこを通って来て。

梁 来る時にもラバウルを通ったんですか。

黄 来る時はシンガポールから来たんだよ。

姜 ハルモニがいた場所がラバウルなんじゃない
かしら。

黄 そんなの分からない。忘れちゃって。

梁 とにかくハルモニの記憶にラバウルとシンガ
ポールという名前があるんですね。

黄 うん、シンガポールにいて……。

姜 だから二つの場所が同じ所だと思っているみ

たい。

——「さらばラバウルよ」って歌聞いたことあり
ますか。

黄 分からない。忘れちゃって分からない。私も
日本の歌上手だったんだよ。

梁 じゃあ、日本の歌を歌ってください。

黄 「思い出は……」〔日本語で発音〕そういう
の。

姜・林 歌ってください。

黄 「思い出は、思い出は……」（歌う）。全部忘
れちゃった。私はこの「思い出は」が上手で、軍
人たちがまたやってくれて言ったものなんだけ
ど、もう全部忘れちゃった。

梁 そこがシンガポールだと誰から聞きました
か。

黄 誰からって……、私たちが行ったらシンガ
ポールだって言ってたんだよ。

梁 誰が？ 女性たちが？ 軍人たちが？

黄 軍人も言うし、姉さんたちも言うし、シンガ
ポールだって。

姜 じゃあラバウルは？

黄 ラバウルじゃなくてラポール。最初に〔調査
する人が〕来た時は私が全部覚えていて全部教え
てあげたよ。でも今は分からなくなっちゃった。

姜 でも、それもたった3年前じゃないですか。

梁 ラポールというのはどこで聞いたんですか。

黄 そこで聞いた。

梁 シンガポールで？

黄 うん。

——ラポールは何なんでしょう。

梁 シンガポールとラポールは同じ場所ですか。
近いんですか。

黄 いいや、ラポールはここで、シンガポールは
ここ。

梁 あ、じゃあ、遠いんですね。じゃあ、二カ所

にいたんですか。

黄 いや、一ヵ所にいて、車に乗って、あれに乗って……。

梁 じゃあ、行く途中でラボールを通ったんですか。

黄 うん。

梁 ラボールを通してそこで何日いたんですか。ラボールで。

黄 通っただけだよ。

梁 通っただけ。

黄 うん

梁 じゃあ、先にラボールに船が着いてそれから。

黄 うん、通って……。

梁 そのラボールからシンガポールまでどれくらいかかりましたか。

黄 随分かかったよ。たくさんかかった。日本から行くんだからたくさんかかったよ。

梁 ラボールからシンガポールに行くのにもたくさんかかりましたか。

黄 うん

梁 ラボールで船から一度降りましたか。

黄 降りないよ。そのまま行った。

梁 通り過ぎながらそこがラボールだという話を聞いたんですか。

黄 うん、そこがラボールだって。

梁 それじゃあ船から降りたのはシンガポールだけなんですね。シンガポールに着くまでずっと船の中にいたんですか。

黄 そうだよ、船の中にずっといたさ。怖くて外も見れないよ。

梁 シンガポールで降りて、その家までは歩いて行ったんですか。車で行ったんですか。

黄 それはシンガポールで船を降りてそのまま行ったんだよ、そこに。すぐそこなんだから。

梁 歩いて？

黄 うん、歩いて。

慰安所の女性たち

——一緒に連れて行かれた女性たちの名前は覚えていますか。

黄 新興の女だけ。

梁 その人の名前は？

黄 ウメコ。今生きているかは分からない。

姜 釜山まで一緒に来たんですか。

黄 いいや、あの子は新興だし、私は長城だから。私よりも2歳年上だった。

姜 それ以来、会ってないんですか。

黄 うん、一回も会ってない。生きてるのか死んだのか分からない。会いたいんだけど。

——29人が一緒に行きましたよね。その女性たちはみんな一緒に帰って来たんですか。

黄 そりゃあ、一緒に帰って来たよ。

梁 向こうで亡くなった方はいないんですか。

黄 船で一人死んだ。行く途中に、船で燃やして……。

梁 その人はどうして亡くなったんですか。病気ですか。

黄 病気だよ。

梁 シンガポールで死んだ人はいなかったんですか。

黄 いない、いない。

梁 1年2ヵ月、あそこで生き延びて一緒に帰って来たんですか。

黄 うん。

梁 ソウルまでみんな一緒に来たんですか。

黄 私たちは私たちが来たんだよ。日本で降りた人もいるし、分からない。

梁 日本で降りた人もいたんですか。

黄 うん。日本で降りた人が4人か5人いた。私

私たちは私たちが降りてまた来て、

梁 二人で？

黄 うん。私は長城で、あの子は新興。

梁 その人と親しかったんですね。

黄 そうだよ。親しかったよ。私が姉さんって呼んでたの。

解放後の生活

——戦後のことをお聞かせ下さい。

梁 故郷に戻った後、お姉さんに会ったり……。

黄 姉さんに会ったよ。弟にも会ったし。死んだと思っていたのに、生きてたって……。

梁 どういうことがあって、どんな所に行って来たかということについては……。

黄 そんなことは言わなかった。

梁 今でも弟さんは知らないんですか。

黄 知らないよ。弟は知らない。去年死んじゅうたから。

梁 弟が？

姜 いや、お姉さんのこと。

梁 解放後はどんなふう生きていらしたんですか。

黄 アイゴー、故郷の長城にしばらくいて、そのまま嫁に来たんだよ。

梁 嫁に、ここへ？

黄 うん、22歳の時に来た。来てみたら何にもなくて、可哀想な暮らしをしてきたんだけど……。

姜 旦那さんとは年の差が大きかったんですか。

黄 うん。

姜 何歳違いですか。

黄 16歳。

梁 どなたかの紹介ですか。

黄 うん、長城で。

梁 お子さんは何人ですか。

黄 息子が2人、娘が4人。

姜 娘さんたちはどこに住んでるんですか。

黄 釜山に1人、^{クァンジュ}光州にもいるし、^{ナジュ}羅州にもいるし、2人は光州にいる。一番上の娘は子どもがいなくて一人で暮らしてる。

姜 今一緒に暮らしてるのは長男ですね。

黄 うん。あれが長男。あの子が60歳。

——夫はいつ亡くなったんですか。

黄 もう10年になるのか、12年くらいなるのかな。今生きていたら101歳。

——夫には話していたんですか。

黄 話さないよ。恥ずかしいもの。この村では誰も知らないよ。

梁 子どもたちも知らない？

黄 子どもたちは知ってるよ。

申告について

——申告した動機は？

黄 じっと考えてみて、自分で申告をしてみようかなあと、誰にも気づかれないように。それからしばらく経ったよ、何ヵ月かかかった。もっと早くすればよかったんだけど、結局、考えて自分で申告した。

姜 どこに申告したんですか。

黄 この村の人に申告して、全部やった。長城に、うちの姉さんや弟にも聞いてみたりしたよ。全部調べたの。それでやっと〔登録〕できたの。そうじゃなかったら……。他の人はうまく〔登録〕できなかったかもしれない。日本が悪いって大騒ぎだねえ。

梁 申告はいつされたんですか。

姜 2005年。

梁 2005年に洞事務所に申告したということ？

姜 いや、そうではなくて、この村の知り合いに話をしたんでしょう。それでハルモニが申告した後で、お姉さんや弟さんに会っていろいろ聞いて

たってことでしょう³⁾。

黄 うん、いろいろ聞いて、全部連絡して、全部通知もして、全部やった。それですごく細かくやってやっと調査が終わったの。そうやって確認するんだよ。

梁 お姉さんたちには何を聞いたんでしょう？
ハルモニがいなかったこととか？

姜 そういうことから始まって……。

梁 じゃあ、お姉さんや弟さんは知っていたんでしょうね。

姜 知っていたでしょう。ハルモニだけが知られていないと思っているだけで。

黄 他の人は知らなくても、子どもたちは知っている。私が話したから。

姜 いつ話されたんですか。申告の前？

黄 いいや。私が実はこうこうこういう経験をしたって、娘にだけ話したの。長女にだけ。25歳だったから。そしたら、お母さん、恥ずかしいからそんなこと他の人には言うなって。あの当時はみんな連れて行かれたんだよ。金儲けに行った人なんかいないって、そう言うのよ。釜山の男、怖い人相の男に連れられて、金儲けさせてくれるって言ったから行ったんだ。そんなことだって分かっていたら誰が行くかって言ったら、お母さん、お母さん、恥ずかしいからそんなことは言わないでって。だから他の人には言わなかった。子どもたちは知っている。

梁 同居している長男は知っているんですか。

黄 知ってるよ。うちの家族は知ってる。弟は知らない。

——お子さんたちの反応はどうでしたか。

黄 死なずに帰って来てよかったって言いながら、誰かが知ったら恥ずかしいから言うなって、そう言ったよ。それで私は、恥ずかしいことだけど、知ってたら行かなかった、すべて奪われて、当時はそうするしかなかったんだって言った。それで生きて帰れた人もいないのに、母さんは生きて帰って来れたんだ。知ってたら行かなかったって言ったんだよ。オンマ、恥ずかしいから他人には言うなって、そう言った。恥ずかしいことだよ。アイゴ、若い人たちにとっては恥ずかしいことだよ。

——騙して連れて行った人が悪いんですよ。

黄 いやあ、それでも、それでも。それはそうだけど。いいところに船に乗って行って旅行をして来たわけでもない。うちの子たちは、とにかく、アイゴー、お母さん言うなって。恥ずかしいから言うなって。うちの子は酒を飲むと言うんだよ。あんな所に行って来たって。他のお母さんたちはそんな所に行かなかったのに、なんでそんな所に行ったんだって、酒を飲むとくだを巻くのよ、辛いよ。

梁 夫はどんな仕事をしていたんですか。

黄 働いてたよ。

梁 どんな仕事？

黄 畑仕事。畑はないから他人の畑で仕事して……。何にもなかったんだよ。なあんにもなかった。あの頃は車、いや、バスがないんだよ。汽車しかない。それでこっそり逃げ出したんだけど、誰かが告げ口して、旦那が棒で殴ってたいへんだったよ。本当にこっぴどく殴られたよ。何にもないんだもの。あの時はまだ子どももいないときだったから。逃げようと思ったんだけど。バスさえあったら逃げてたよ。バスがなかったんだよ。あの頃は。

3) 実際にはハルモニが洞事務所に申告をした。当時は、申告すると、身元保証人と証明人2人以上が必要だった。そこで洞事務所がハルモニの申告について、姉や弟に尋ねるなど調査をおこなったということ（梁註記）。

梁 帰って来てからすぐに結婚したんですか。

黄 いいや、かなり経ってから。

梁 何年後ですか。

黄 1年か2年くらい。一人で生きるつもりだったのに、よりによってこんな人と会って。何にもないんだから、何にもないの。すごく苦労したよ。

梁 申告したのはどうしてですか。

黄 一人でじっと、誰にも言わないで、誰にも聞きもしないで、じっと考えたの。一人で、これをどうしようか、男ならいいけど、女があんな所に行行って来たって申告したら、有利なのかどうか。有利であれ、不利であれ、とにかく誰にも分からないように村の人に話したんだよ。男の人に、私がこうこうこうでって。

梁 なぜそれを言おうと思ったんですか。

黄 もうそういうことを言っても大丈夫そうだと
思ったんだよ。それで話したら、あそこに行行って
来たんですか、もっと早く言えば良かったのに、
なぜ今まで言わなかったのかって。だから私は誰
にも言わないで、私たち二人だけの秘密にしてっ
てお願いしたの。調査に来た人たちに全部話した
ら、それを全部書き取って、私の故郷、長城、そ
こに行行って全部調べて行行った。そしたら郡から来
たよ。ハルモニは死ぬまでお金がもらえます、80
万ウォンなら少ない額ではないですよって。そう
してお金ももらうようになったんだよ。テレビ見
ただけど大騒ぎだねえ。

梁 水曜デモですね。ハルモニも行きたいんです
か。

黄 うん。行きたい。

——長時間どうもありがとうございました。

（商学部教授・日本現代史）